

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

\*相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00  
\*場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
（秘密厳守）

## 【青少年の生活相談】

\*相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）  
\*場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
（秘密厳守）

### 今月の家庭の日 11月18日（日）

今月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。子どもは地域でも育ちます。家庭や地域が中心となって、公園やお店の周囲で気になる子ども達を見かけたら、積極的に声をかけましょう。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

[E-mail : youth@city.chikuma.lg.jp](mailto:youth@city.chikuma.lg.jp)

相談員がメールでお答えします。  
（秘密厳守）

### 地域に見守られて

千曲市校長会 治田小学校 塩野入 崇

校長室前の廊下に感謝状があります。長年の地域安全活動に對して長野県防犯協会連合会長（県知事）と長野県警察本部長から治田子ども守り隊への感謝状です。

治田子ども守り隊は今年で十二年目となりました。「当時はボランティア活動に對して、学校からお金をもらっているなどの誤解もあったが、子ども達のためという強い意志を持ってやってきた。」と創設に携わった方が話してくださいました。現在守り隊の方は、四十名が登録され、毎日十数名の方に子ども達の登下校を見守っていただいています。

「挨拶ができない子どもがいる。」「時間の意識が薄い。」総会での守り隊の方々のご意見です。交通安全面だけではなく、人として大切なことも我が子のように指導してくださいます。本当にありがたいことです。

五月新潟市で下校中の児童が殺害される痛ましい事件が発生し、国は「登下校防犯プラン」をまとめました。千曲市でも八月に警察と市教委として学校三者の会議を開き、それを受け通学路の危険箇所をPTAと共に検討し報告しました。

今、子ども達を取り巻く環境が激変しています。さらに今後は少子高齢化に加え、社会的変化が目まぐるしく、予測が困難な時代を迎えようとしています。

子ども達が成人し、自信を持って人生を切り拓き、よりよい社会を創っていくためには、今私たち大人がしなければならぬ事は何でしょうか。

「自分から挨拶ができない子ども達に」まずは大人から挨拶する。子ども達が大人になった時に、そういえば近所のおじいさんに挨拶されたなあと言ってくれるだけでもいいんじゃないかな。」と話してくださいました地域の方の言葉が忘れられません。大人が子ども達の見本になって温かく見守ること。そんな環境が大切だと私は感じています。

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 大人が変われば子どもも変わる —

## ～ 11月の育成センターの活動～

秋も深まってきました。11月の育成センターの取り組みをお知らせします。

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」及び「有害環境浄化活動強化月間」です。

～合言葉「大人が変われば子どもも変わる」～「ひまわりっ子県民運動」を更に推進

(1) 環境浄化活動への取り組み

### ① 補導委員による環境チェック活動

○環境チェック活動 11/5～11/9: 抽出した店舗に、青少年健全育成へのお願いや環境チェックに訪問。

○必須店舗実態調査活動 11/15～11/21: カラオケボックス・ネットカフェ・書店・コンビニ・スーパー・ビデオDVD販売店等には年1回必ず訪問し、環境浄化活動に協力していただいています。

※お忙しい折ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力よろしく願っています。

② 「有害自動販売機NO!」宣言のチラシを市内全戸に回覧し、市民の皆さんの意識高揚を図る。

(2) 街頭啓発活動の実施 11月1日(木) 午前7時～ しなの鉄道屋代駅前にて

(3) 長野県青少年健全育成県民大会 諏訪市諏訪文化センター 11月10日(土)



## 補導日誌から



### 「夢中」その2つの姿

9月20日(木) 4:00pm～6:00

内川公園内の東屋に5年生の男子3名がいて、寒いとふるえながら夢中でゲームをしていました。声をかけると、ゲーム名は「マイクラフト」「学校の宿題はたくさんでている」などと答えてくれました。ただ、ゲームの画面からは目を離しません。早く帰って宿題をするよう声をかけました。更埴中央公園に行くと、中1と小5の男子2名が雨の中サッカーに熱中していました。ぬれるよと声をかけても、「頭だけです」と言いながら更にゴールをめざして続けています。帰宅するよう促したけれども、雨でずぶぬれになりながらの熱心さには脱帽!

### 子どもを守るのはやはり「おとな」

9月21日(金) 4:00pm～6:00

科野の里ふれあい公園では、小学生3名が遊んでいました。持ち物が離れた場所に置いてあったので、忘れないように声をかけました。噴水施設は冬支度のためシートが敷かれ、周りに工事用バリケードが設置されていました。この夏は子ども達のためお疲れ様でした。倉科ふれあい公園付近では、帰宅途中の小学生に行き会いました。気をつけて帰るよう声をかけると、元気な声で「はい」と答えてくれました。「秋の全国交通安全運動」が始まりました。普段から大人が交通安全に心がけるのは当たり前ですが、「こんにちは」から始まり「事故に気をつけて帰るんだよ」と、声かけを続けていきたいです。

### 帰る家楽しいという幸せ

9月25日(火) 4:00pm～6:00

一日中雨降りでしたが、巡回中は雨も弱まっていました。こんな日は、当然外にいる子ども達は見かけません。更級児童館では、皆元気一杯に遊んでおり、あいさつも元気に返してくれました。遊具は独占しない様、それぞれに時間を決めて使うのだそうです。どんなに楽しく過ごしていても、家の人のお迎えが来ると、さっと帰る子ども達でした。その姿を見ていて、やはり自宅はいいのだなあと思いました。そして、帰る家はそうでなければならないものだとも感じました。小船山公園の多目的トイレ内に食べ物の空容器が残されていて、回収しました。千曲駅、戸倉駅、共に特に問題となることはありませんとのことでした。

### 点検後の早速の対応がありました

9月26日(水) 4:00pm~6:00

昨日、教育委員会1名・警察3名・学校2名・補導委員1名よる小学校区の通学路合同点検が実施されました。今日は、そこで問題個所として上がっていた場所を重点に巡回しました。県道の法面に設置されているトンネルが、通学路になっている場所へ行きました。夕方になると、人通りが少なくまた暗く死角となり、防犯上問題を抱えた場所です。その法面とトンネル付近は、昨日まで雑草で覆われていました。私達が4時半過ぎに現場に行ってみると、作業員2人が草刈り機で法面に沿って草刈り作業をしていました。「急な斜面での作業なので、安全には十分気をつけてください」と声をかけました。「分かりました」と返事がありました。再度、ご苦労様と言って現場を離れました。

### 公園の巡回まんべんなく

9月27日(木) 4:00pm~6:00

ねむの木公園で、西中の生徒3人がサッカーをしていました。明日が田毎祭のため早い帰宅のようで、声をかけると気持ちよく話をしてくれました。稲荷山公園には、お孫さんとブランコしていたおばあちゃんがいまいましたので、お話をさせていただきました。広い公園なので上の山手の方も巡回して欲しいと要望があり、見廻りをしてきました。今回は異常ありませんでした。今後も上の方も巡回をお願いしたいと思います。

### 楽しい親子の時間、何よりです

10月4日(木) 4:00pm~6:00

屋代駅では駅トイレ改修工事が始まっており、仮設トイレが1つ設置されていましたが、利用するお客さんのことを考えると増設したほうがいいと思いました。科野の里ふれあい公園では小学1年の(同級生)10人ほど遊具で遊んでいたのを声をかけると、元気な声で「こんにちは」とあいさつをしてくれました。また、親子で遊んでいた4組の顔を見ると、楽しく親子の時間を過ごしていたことが分かりました。

### ゴミを持ち帰る子どもがいました

10月9日(火) 3:45pm~5:45

10月ともなれば日没も早いので、少々早目に巡回を始めました。通常の巡回箇所と不審者出没情報のある場所を回りました。屋代駅では放置自転車が3台ほどありました。放置自転車を無断借用し犯罪となったケースもあるとのこと、放置自転車の処理は大変なことだと思いました。伊勢宮公園には、いつも小学生がいます。今日もサッカーの仲間が2組10名ほどいました。おやつのゴミを、持参の袋に入れて帰るのを見て感心しました。側道など、草丈の伸びた所は通学時恐怖を感じるだろうと思いました。

## 編集室の窓

### 自然に気配り・声がけができる場

紅葉の時期真っ最中になりました。山奥のとある池に絶景を期待して行きました。スマホ片手の人、一眼レフを構えている人、そして、三脚を立てた重装備の人、等々多くのカメラマンと行き会いました。一周40分程度の池ということで、気に入った場所を探しながら歩きました。池に飛び出した小島に渡る途中が絶景ポイントのようで、三脚を立てた先人が存在感を漂わせて撮影していました。小島への通り道ですが、邪魔になって向こうに行けません。そこで遠慮しているわけにもいかず、相手の様子を見極めて、「すみません」「すみません」と頭を下げながら、カメラの前をすり抜けました。相手の人も「ああ、ごめんなさい」のひとことを返してくださいました。無事に素敵な写真が撮れました。絶景ポイントとされる場所でのカメラマンの振舞いに対しては、厳しいお叱りの声を耳にします。でも写真を撮っていると、周囲の人々の配慮に頭が下がります。

○お互いに撮りあっていると「お撮りしましょうか」とよく声がかかります。

○気がつくと、フレームに入らないよう立ち止まって待っていている人がいます。恐縮します。

静かな自然の中では、出会う人々との垣根がなくなります。気を配りながらも、声をかけ合い親しくなっている…奥ゆかしさを感じるひと時が生まれます。そんな静寂な環境では、子ども達も奥ゆかしい立居振舞をするようです。大切に生かしたい環境です。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切であります。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

### しょう来の夢

5年 小井土 叶

私のしょう来の夢は、かいごふくし士です。なぜかというと、私のお母さんがかいごふくし士で人を助ける仕事をしていてすごいなと思ったからです。

でもかいごふくし士になるには勉強をして資格をとらないといけません。だから今は勉強をがんばっています。

先月、いままでよりもっと勉強をがんばろうと思わせてくれる人が学校に来てくれました。『夢先生』という企画です。先生は元Jリーガーの三浦まさき先生でした。先生は昔の自分の事を一生けんめいに話してくれました。うまくいかなかったり失敗したりしても、あきらめずに何度も努力で乗り切ったそうです。

だから私も大変なことがあっても夢に向かって、諦めずにがんばっていききたいです。

### 僕の夢

5年 岡村 晃大

ぼくの夢はプログラマーです。プログラマーとはコンピューターのプログラムを作る仕事をする人のことです。簡単に言えばコンピューターに仕事を与えるということです。

なぜ、僕の夢がプログラマーかかというと、授業でプログラミングを学習して、自分が思ったとおりの動きを作れると「おもしろいなあ。」と思ったからです。

なので、このプログラミングを使って将来はゲームを作りたいです。だから、この仕事に向けて今は勉強をがんばりたいです。